

## はじめに

世界にパンデミックを引き起こしたコロナウイルスの混乱もようやく落ち着きを取り戻し、世界との人的移動もコロナ前と同じ状況となってきました。海外に拠点をもつ企業では、社員の国外への異動も徐々に増えつつあり、それにともなって児童生徒の転出も今後コロナ前の水準に戻るのではないかと考えられます。

さて、本市では、「黒部国際化教育の基本方針」のもと、「黒部国際化教育特区」の認定を経て、平成18年度から全国に先駆けて「英会話科」が正式な教科として市内全小中学校で実施されてきております。さらに、英語サマーキャンプ（対象：小中学生）、姉妹都市交流研修（対象：中学2、3年生）等さまざまな取組を推進することで教育の国際化を図ってきております。本市におけるこうした国際化教育の進展をふまえ、また、変化する国内外の教育事情への対応を念頭に置きながら、これまでの『海外・帰国児童生徒のためのハンドブック』の内容を5年ぶりに見直しました。

このハンドブックは、外国籍の保護者家庭はもちろん、これから出国される、あるいは、長期間海外の生活をしてこられて帰国される日本人の方々が抱える言葉の問題や異文化での生活への不安を少しでも解消しようと考えられてつくられたものです。年々、社会のしくみや学校環境も変わってきているため、5年毎に内容を見直すことにしています。35年前に諸先輩方が苦勞されてつくられたこのハンドブックも、すでに第8版を重ねることとなりました。ただ、内容が充実してきたといえ、このハンドブックにすべてが網羅されているわけではありませんので、分からないことがありましたら、遠慮せずに直接学校や教育機関（黒部市教育委員会）に問い合わせたり、相談したりしていただきたいと思えます。

おわりに、本ハンドブックの作成に多大なご支援とご協力をいただきました黒部市教育委員会、YKK教育相談室、そして実際の作成を進めていただいた黒部市教育センター、また、貴重な体験を寄稿いただいた海外在住の皆様や帰国児童生徒の保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

令和6年3月

黒部市帰国児童生徒教育研究会  
会長 平田 恩  
(黒部市立中央小学校長)